



ろうそくの幻想的な灯り



JAZZ ライブ



フィナーレは打上花火



園児のよさこい踊り

五月田かんがえ地蔵まつり

8月22日(土)

毎年恒例となった五月田かんがえ地蔵まつりが開催され、多くの人で賑わいました。集落から、うどんが振る舞われ、町内集落の夜店も出店されました。子どもたちの踊りや、郷土芸能披露の後は見事な打上花火が上がり、夏の夜空にきれいな花が咲きました。

新田万灯会

8月23日(日)

集落で毎年行っていた万灯会を集落外の人にも来てもらおうと始まった新田万灯会。今年で3回目となりました。集落内にたくさんのおろうそくを灯し、幻想的な空間が広がりました。智頭町ゆかりの演奏者達がJAZZライブ、ヒーリングライブを繰り広げ、観客は夏の夕涼みを楽しんでいました。



熱心に杉の葉をさばく



たくさんの倒木を撤去

新規森林セラピーロード環境整備

8月23日(日) 山郷地区横瀬

山郷地区横瀬で新しい森林セラピーロードを開設する準備が進んでいます。この日は、地区のみなさんが中心となり、町の若手職員も参加し、倒木、道周辺の景観を遮る木の撤去などが行われました。渓流沿いの心地よい風が吹く中での作業でしたが、想像以上の重労働でした。作業後は、美しい景観となりました。

杉玉作りの製品化を目指す！

8月27日(木) 智頭農林高校

園芸科学科3年生がちのりんシヨップでの杉玉販売を目指して、杉玉道場で研修しました。この挑戦は生徒からの提案です。学習林の杉の葉を利用し、オリジナルの屋根を考えて作成を予定しています。この日は、杉の葉を網に詰め、葉を切る作業を体験しました。黙々と作業していた生徒でしたが、はさみで杉の葉を切る時には思い思いの形に仕上げ、笑顔で作業していました。



9月1日は防災の日

予定の役割を確認

町内で局地的大雨(ゲリラ豪雨)が発生したという想定で、職員参加訓練を実施しました。土砂災害、河川の決壊等が発生し、町内数箇所が道路が寸断されたという想定で、雨の中、午前6時30分から1時間以内に45人の職員が徒歩等で役場に参集。各対策部の役割を確認し、対応を検討しました。今後、も町民の生命・生活を守るため、緊張感を持って災害に備えます。

智頭町職員非常参集訓練を実施

9月1日(火)



藍の栽培を行い、刈り取り

藍の刈り取り始まる

8月上旬智頭農林高等学校園場

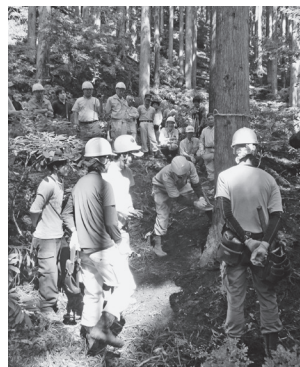
智頭の藍染めを継承する「なちゅうるぶるー」が智頭農林高等学校の園場を借りて栽培している藍畑で、智頭魅力アップのためののれんプロジェクトを行うpreserve智頭宿と高校生が一緒に刈り取りを行いました。藍染めの技術継承と智頭魅力アップのため、1月の完成に向け進めています。出来上がりが楽しみです。



真剣に学んでいます



着物でおもてなし



大のこぎりで伐採



森ノ学ビ舎始動

智頭ノ森ノ学ビ舎始動

9月4日(金)町有林

事業者による山の管理を任せ採算性のみを重視した現在の林業経営ではなく、自ら山を管理し森林整備や林業経営をしていくことを目的として「智頭ノ森ノ学ビ舎」が発足されました。伐採や搬出などの知識・技術を修得するため、研修していきます。大谷訓大会長は、「持続可能な林業経営モデルをつくり、林業希望者を受け入れていきたい」と意気込みを語りました。

高校生観光ガイドデビュー!

智頭農林高校の高校生観光ガイドの3人が、見事養成講座を修了し、活躍中です。案内の経験を重ねるごとに自信がついて、石谷家住宅内を一人でガイドできるようになりました。お客様が石谷家の内装をご覧になる速度にあわせて、丁寧かつ分かりやすい言葉で説明していました。

智頭の文化や歴史を学びながら、仕事の体験もできる高校生観光ガイド、智頭町観光協会が引き続き募集しています。